

三重県における主な取組状況について

(1) 三重県地球温暖化対策総合計画（仮称）の策定

三重県では、「三重県地球温暖化対策実行計画」（計画期間：2012 年度～2020 年度）を策定し、温室効果ガスを「2020 年度までに 2005 年度比で 20%削減」するという目標を掲げ、県域（区域施策編）および県自ら（事務事業編）削減に取り組んできました。

その間、パリ協定の発効や気候変動適応法の施行、最近では菅総理が 10 月に「2050 年には、国内の温室効果ガス排出量を実質ゼロにする」と宣言するなど、国内外の情勢が変化していることを踏まえ、「三重県地球温暖化対策総合計画（仮称）」として策定(2021 年 3 月)する予定です。

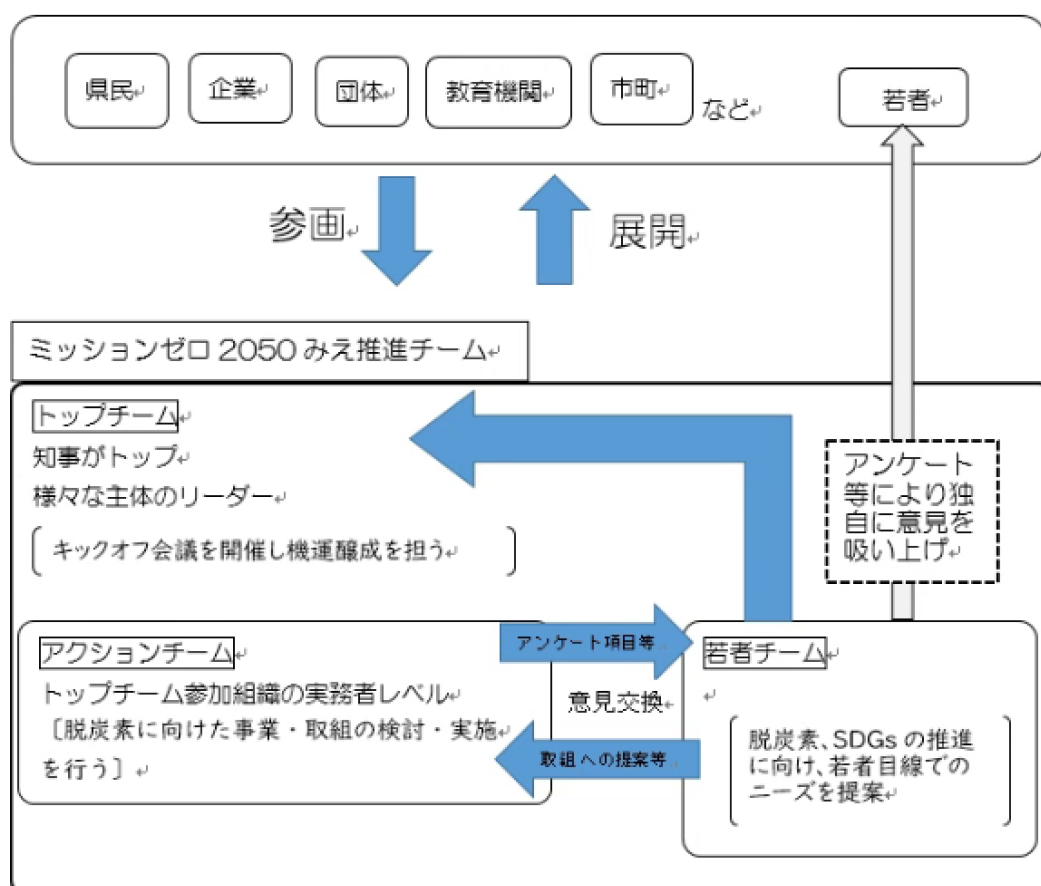
この計画では、温室効果ガス排出量が 2050 年までに実質ゼロとなる社会の実現に向けた 2030 年度までの温室効果ガス削減の取組と、適応策の取組を示していきます。

(2) 脱炭素社会の実現に向けた「推進チーム」の取組

三重県が、脱炭素社会の実現に向け、率先して取り組む決意として宣言した「ミッションゼロ 2050 みえ～脱炭素社会の実現を目指して～」(2019 年 12 月)をオール三重での取組につなげていくため、「ミッションゼロ 2050 みえ推進チーム」(以下、「推進チーム」という。)を立ち上げました。

また、令和 2 年 12 月 17 日にはキックオフとなる会議を開催しました。

〈推進チーム構成イメージ〉



（３）三重県脱炭素社会推進本部（仮称）の設置

（三重県脱炭素社会推進本部（仮称））

三重県における脱炭素社会の実現に向けた取組を総合的に推進することを目的として、知事を本部長とする推進本部を設置。

脱炭素に関する動向や取組等について、必要な調査・審議等を行うとともに、関係部局で連携・協力等を行う。

（４）地球温暖化防止啓発番組の放送（三重県地球温暖化防止活動推進センター）

例年、地球温暖化防止月間の 12 月に実施している「みえ環境フェア」ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

このためフェアの代替として、地球温暖化防止啓発番組の作成を行い、環境問題に対し、興味関心が薄い層に向けて情報発信し、普及啓発を図りました。

産官学民で地球温暖化対策の取組をインタビュー形式で紹介する、15 分程度の啓発番組「オール三重で COOL CHOICE」を制作し、11 月から 12 月にかけて放送されました。また、作成した番組は、YouTube（三重県地球温暖化防止活動推進センターのホームページに掲載中）で配信するほか、DVD も作成し、地球温暖化防止活動推進員活動の教材等としても使用される予定です。

（５）気候変動適応に関する取組

環境省の委託事業「国民参加による気候変動情報収集・分析業務」の取組を進めています。2 年目となる今年度は、三重県気候変動適応センターと水産研究所と連携して、次の 2 課題について、将来予測計算の計画作成に取り組んでいます。

課題 1：三重県沿岸域における海水温の変化に伴う水産物の養殖適地変化

課題 2：三重県沿岸域における海水温の変化に伴う養殖水産物への悪影響を及ぼす赤潮及び魚病リスクの増大

また、津地方气象台と連携し、「三重県気候講演会～ウミガメ保全から学ぶ地球温暖化問題～」を、令和 2 年 11 月 12 日に開催しました。